

JIS

アルミニウム及びアルミニウム合金の 硬質陽極酸化皮膜

JIS H 8603 : 1999

(2004 確認)

(2008 確認)

平成 11 年 8 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が改正した日本工業規格である。これによって、JIS H 8603 : 1995は改正され、この規格に置き換えられる。

JIS H 8603には、次に示す附属書がある。

附属書1(規定) 耐摩耗性基準試験片仕様(硬質皮膜用)

附属書2(規定) 平板回転摩耗試験

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：平成 7. 2. 1 改正：平成 11. 8. 20

官 報 公 示：平成 11. 8. 20

原案作成協力者：軽金属製品協会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 非鉄金属部会(部会長 神尾 彰彦)

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部標準業務課 産業基盤標準化推進室(☎100-8921 東京都千代田区霞が関1丁目3-1)にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

アルミニウム及びアルミニウム合金の H 8603 : 1999 硬質陽極酸化皮膜

Hard anodic oxide coatings on aluminium and its alloys

序文 この規格は、1994年に第1版として発行された、ISO 10074, Specification for hard anodic oxidation coatings on aluminium and its alloysを元に技術的内容を変更することなく作成した日本工業規格であるが、対応国際規格には規定されていない規定項目(表示)を日本工業規格として追加した。

なお、側線又は点線の下線を施してある箇所は対応国際規格にはない事項である。

1. 適用範囲 この規格は、アルミニウム及びアルミニウム合金の展伸材、鋳造材などの素地に耐摩耗性などの目的で施した主として硬質陽極酸化皮膜(以下、皮膜という。)の有効面について規定する。

備考 この規格の対応国際規格を、次に示す。

ISO 10074 : 1994 Specification for hard anodic oxidation coatings on aluminium and its alloys

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。この引用規格は、その最新版を適用する。

JIS H 0201 アルミニウム表面処理用語

JIS H 4000 アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条

JIS H 4040 アルミニウム及びアルミニウム合金の棒及び線

JIS H 4080 アルミニウム及びアルミニウム合金継目無管

JIS H 4100 アルミニウム及びアルミニウム合金押出形材

JIS H 4140 アルミニウム及びアルミニウム合金鍛造品

JIS H 5202 アルミニウム合金鋳物

JIS H 5302 アルミニウム合金ダイカスト

JIS H 8503 めっきの耐摩耗性試験方法

JIS H 8680-1 アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化皮膜厚さ試験方法
第1部：顕微鏡断面測定法

JIS H 8680-2 アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化皮膜厚さ試験方法
第2部：渦電流式測定法

JIS H 8682-1 アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化皮膜の耐摩耗性試験方法
第1部：往復運動平面摩耗試験

JIS H 8682-2 アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化皮膜の耐摩耗性試験方法
第2部：噴射摩耗試験

JIS H 8687 アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化皮膜の絶縁耐力試験方法

JIS H 8688 アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化皮膜の単位面積当たりの質量測定方法

JIS K 6253 加硫ゴム及び熱可塑性ゴムの硬さ試験方法